

## 第1回東アジアガンカモ類シンポジウムに 参加しました

平成29年4月6～10日にかけて、中国・内モンゴル自治区のフルンボイル市で、第1回東アジアガンカモ類シンポジウムが開催されました。

中国，韓国，ロシア，モンゴルなどから各国の専門家が50名ほど集まり，東アジアのガンカモ類の保全のための情報の共有，今後の研究の方向性について議論しました。財団からは日本で行われた衛星追跡の総括を発表しました。

日本，韓国などはモニタリングをはじめ，研究がすすんでいる一方，中国は国土が広大ということもあり，十分な研究がすすんでなく，その状況をいかに改善するか議論が集中しました。



会議風景



会議は中国国営放送で放送された



町から出るとすぐに草原地帯. 羊や馬の放牧が盛ん.



バスで2時間走っても風景は変わらない



自然保護区内の管理舎



観察の様子



ハイイロガンの群れ. その他サカツラガン, オオハクチョウなどが観察された. 日本と違い, ハクチョウは人が寄ると逃げた